

# セロー、トリッカー 油圧クラッチKIT取付説明書

- ①スタンダードのクラッチレバー、ワイヤーを取り外す。  
②ハンドルにマスターシリンダーを取付けてホースをハンドルを切っても干渉しにくいように取り回す。



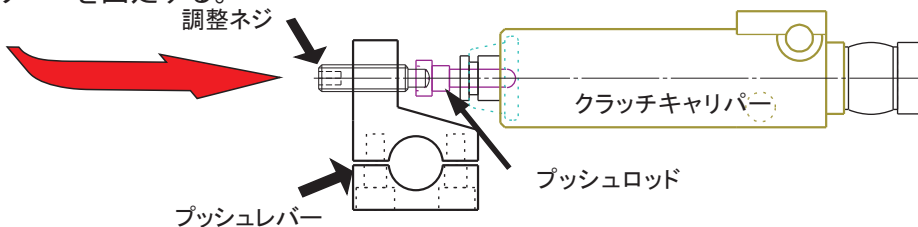
- ③リターンスプリングを取外す。



- ④油圧クラッチ用プッシュレバーを取り付ける。  
(仮固定する)



- ⑤クラッチキャリアーを取付ける。  
クラッチキャリアーとプッシュレバー、プッシュロッドが真直ぐになるようにキャリアーを固定する。

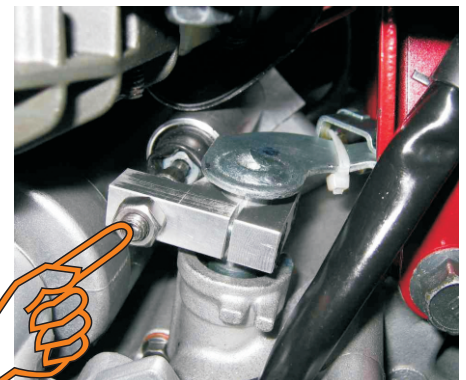


- ⑥プッシュロッドを押し込むようにプッシュレバーを回転させて固定する。  
クラッチレバーを握ってクラッチが正しく切れるようにプッシュレバー、調整ネジを調整し固定する。

- ⑦クラッチレバーをいっぱいまで握ってキャリアーの稼働範囲内で作動しているか確認する。

クラッチレバーを放した状態でプッシュレバーを指で押すと少し奥に入る位の位置に調整ネジで調整する。

注意:この時、押し代がないとクラッチがすべる可能性があります。



- ⑧ブレーキフルード(DOT4)は入っています。  
輸送時にエアが混入した場合はエア抜きを行なって下さい。

\*レバーを何度か握る若しくは  
キャリアーを一度取外しキャリアーのピストンを何度も動かす事でエア抜きが出来ます。

## 【重要】

\*走り出す前に必ずスタンドに乗せ後輪を浮かせた状態でエンジンを始動しギヤを入れてクラッチが切れるかを確認してください。

\*タッチがおかしい時はエアの混入の可能性がありエア抜きを行なって下さい。

\*クラッチの切れが悪い場合時などレバーの位置を調整をする時はレバー下側にあるロックナットを緩め押しネジで調整して下さい。

レバーの位置を調整すると遊びが変化します。マスターシリンダーの前側にある遊び調整ネジで必ずレバーが少しコトコトと動くよう遊びを作して下さい。

油圧クラッチはクラッチを激しく使った時など熱によるタッチの変化をレバーを放すことでマスターシリンダータンク内のフルードがホースに供給され常にタッチが変化しないよう自動的に調整されます。

レバーの遊びを作ることはとても重要で遊びが無いとタッチが自動に調整されません。

